

## 行政視察報告

視察日時	令和 2年 10月 27日(火) 13時 15分～ 14時 45分
視察場所	青森県八戸市 長根屋内スケート場会議室
視察項目	・一般財団法人V I S I Tはちのへについて
視 察 者	産業建設常任委員会委員 8名 同行当局職員 1名 事務局職員 1名
視察概要	<p>人口が約 225,000 人で、水産、工業都市として、青森県南部地方の中心都市として栄える。令和元年に中核市に移行。地方の人口減少や地域経済の縮小などの地域課題を抱える八戸圏域が、持続可能な地域となることを目指し、その達成に向けた仕組みづくりに取り組むことを目的として、2019年4月に設立。それまでの物産協会やコンベンション協会等、5団体を統合し法人化して設立した。統合したメリットとしては、それぞれが開設していたホームページ等の情報発信媒体を一元化することにより、検索者側の視点からすれば、「八戸の観光ポータルサイトはここ」という、安心につながる。また、物販サイトを含め、多言語化対応を実現している。</p> <p>これまでの観光行政にありがちな、有志に頼ることや、公的資金頼みではなく、自らが稼げることを目的としたDMOを立ち上げ、仕事としてできる態勢を構築している。主な事業としては、観光・物産情報サイトの運営や、八戸駅と直結したユートリーという商業施設の運営、国際的なコンベンション誘致活動のM I C E事業などを手掛けている。現在の会員数は法人、個人合わせて 300 程度で会費収入は約 1500 万円。八戸市においてはこの法人が観光事業のソフト面のすべてを担っており、観光関連予算の圧縮に繋がっている。予算規模が少なくても、民間のノウハウをつぎ込めるため、適正な予算で、最大の効果を生み出すアイデアを練ることができる。法人立上げ前から瀬戸内DMOの運営に参画していた方に、相談やアドバイスをもらっていた関係から、現在も E C サイト運営やインバウンドに関してアドバイザーという形で助言をもらっている。</p>
本市に生かせる視点	<p>DMO、DMC、地域商社など形は違えど地域の魅力ある文化、食、商品、自然、体験などを伝えるためには、民間の目線やノウハウを活用することが重要である。主体的に動けるプレーヤーとなりえる人材を発掘、育成することに傾注し、まわりを巻き込みながら進める手法は是非取り入れていきたい。</p>